

〔科目名〕 宗教哲学	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 教養科目
〔担当者〕 木鎌 耕一郎	〔オフィス・アワー〕 時間:授業開始前、終了後 場所:教室、講師控室	〔授業の方法〕 講義
〔科目の概要〕 本講義は、宗教学が扱う基礎的な問題を理解することを目的とします。多様な宗教思想を取り上げますが、授業担当者の専門に引き寄せて、ユダヤ教とキリスト教の宗教思想における主要な諸問題を多く扱います。こうした知識は、皆さんが専門的に学修する社会科学の分野にも有用だと思います。また、現代の国際社会における諸々の事象を読み解くうえでも示唆に富んでいます。本講義では、宗教に関わる思想的、歴史的、文化的な諸問題を、それらが生起した具体的な時代状況や社会的文脈を解説しながら考えていきます。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 国際社会や地域社会で、多様な立場や価値観に基づく対立や闘争が見られる中で、異なる価値観を持つ者が存在することを知り、自らがその直中に共に生きていることを知り、互いに尊重することは、極めて重要な現代的要請です。そのような姿勢は、大学での学びを経て、社会の様々な場面で活躍する「教養人」として期待される資質のひとつでもあります。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 ・宗教学が扱う基礎的な諸問題を理解し、説明できる。 ・ユダヤ教とキリスト教の宗教思想の基礎知識を身につけ、基本的な概念について説明できる。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 2023 年度の授業評価では、すべての項目でおおむね高い評価となりほっとしている。今後も内容や資料、授業方法をブラッシュアップして臨みたい。		
〔教科書〕 なし(毎回、資料を配布します)		
〔指定図書〕 なし		
〔参考書〕 ・加藤銈『一神教の誕生：ユダヤ教からキリスト教へ』講談社現代新書 ・市川裕『ユダヤ教の歴史』山川出版社 ・竹下節子『知の教科書 キリスト教』講談社 ＊その他、授業中に紹介します。		
〔前提科目〕 なし		
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 講義期間中に複数回課す小テストおよびリアクションペーパーによって評価します。		
〔評価の基準及びスケール〕 以下の通りとします。 A 80 点以上 B 80 点未満 70 点以上 C 70 点未満 60 点以上 D 60 点未満 50 点以上 F 50 点未満		
〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 ・予習として、シラバスを参考に、用語の意味等を調べておくとう理解度が深まるでしょう。 ・受講環境を保持するために、退室を願うことがあります。 ・質問は授業中であつても歓迎します。		

〔実務経歴〕	
授業スケジュール	
第1回	テーマ(何を学ぶか): 宗教の起源 内 容: 考古学的成果に見る宗教の萌芽、19 世紀の宗教研究、アニミズム
第2回	テーマ(何を学ぶか): 神話 内 容: 神話の源流、創世神話の類型、世界創世神話の事例、神話批判
第3回	テーマ(何を学ぶか): 儀礼 内 容: 宗教儀礼と年中行事、消極的儀礼と積極的儀礼、通過儀礼(イニシエーション)
第4回	テーマ(何を学ぶか): 諸宗教の礼拝形式 内 容: 祈りの表現、汚れと清め、神道、仏教、ユダヤ教、イスラム教、キリスト教
第5回	テーマ(何を学ぶか): 日本人の宗教観 内 容: 宗教統計調査、宗教意識の国際比較、宗教的行動の分類、神仏習合
第6回	テーマ(何を学ぶか): 日本の宗教政策史 内 容: 対キリシタン政策、国家神道、祭政一致と政教分離、神仏分離令、神社合祀令
第7回	テーマ(何を学ぶか): キリスト教と西洋文化(美術、音楽) 内 容: 偶像崇拜、イコン、物語画、アトリビュート、グレゴリオ聖歌、ポリフォニー、小学唱歌
第8回	テーマ(何を学ぶか): キリスト教と西洋文化(文学) 内 容: 「ヨブ記」、神議論、ダンテ、「神曲」、煉獄
第9回	テーマ(何を学ぶか): 日本文学にみるキリスト教の受容 内 容: 明治以降の日本宣教、キリスト教と出会った文学者、芥川龍之介、遠藤周作
第10回	テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教の成立と信仰構造 内 容: 原因譚神話、人間の創造、一神教、選民思想
第11回	テーマ(何を学ぶか): キリスト教の成立と信仰構造 内 容: 新約聖書の成立と構造、ユダヤ教イエス派、隣人愛
第12回	テーマ(何を学ぶか): 聖書の成立史・翻訳史 内 容: 正典化の経緯、ヴルガタ版聖書、ジョン・ウィクリフ、日本語訳聖書
第13回	テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教とキリスト教の関係史(古代から中世) 内 容: ディアスポラ、置換神学、エクレシアとシナゴーグ
第14回	テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教とキリスト教の関係史(近代以降) 内 容: 反ユダヤ主義、反セム主義、ハスカラ、ドイツ・ナチ党の成立
第15回	テーマ(何を学ぶか): ユダヤ教とキリスト教の宗教間対話 内 容: 宗教間対話、第二バチカン公会議
試 験	講義期間中に複数回課す小テストおよびリアクションペーパーによって評価します。